



# M.M.Honcho Newsletter

【1月号】令和6年1月9日発行



## 新年を迎えて

校長 小正 和彦

2024年スタートいたしました。本年もよろしくお願いたします。

1日に発生しました能登半島地震では、甚大な被害が出ております。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

昨年は開校6年目を迎えた本校にとりまして、大きな節目の年となりました。10年間の暫定設置で開校しました本校でしたが、開校計画時点での児童数の推移予測と異なり、本校並びに本町小学校の児童数の増加が続いており、再統合が難しい状況が判明しておりました。そのような中、在校生、新入生の保護者の皆様にもご心配をお掛けしておりましたが、昨年9月の市会に続き12月の市会において、教育長より期間の延長が表明されました。延長の期間等具体的な形につきましては検討中とのことでしたが、これからの本校の学校運営にとっては大きな転換点と言えます。再統合への準備という当初の予定と異なり、この間の時代ニーズ、地域ニーズと合致した学校創りを更に一層進展できることは、在校生にとっても大いに

プラスになると思います。

2015年に国連で採択されたSDGs。ゴールの2030年まで、既に後半に入っています。にも関わらず、戦争や紛争、気候変動、環境破壊、人権問題など、解決へ向けた有効な方法、最適解が見えない課題が山積しています。子どもたちは、そんな世界、社会、大人を見えています。どのように2030年を迎えるのか。何を優先して働き、生きるのか。そもそもゴールとは何なのか。学びを積み重ね、深めてきている今の子どもたちに、私たちは何を伝え、何を与えるのか、とても重要な数年になると思います。

一人ひとりの子どもが本校での6年間を通して、持続可能な世界の創り手、担い手のベースとなる力、価値観を積み重ねて、自ら自分自身を育てて行ける学校となる新たな一步の一年になればと思います。

今年も教職員一同、心と力を合わせて、保護者の皆様、多くの関係者の皆様とともに学校創りに取り組んで参ります。よろしくお願いたします。



### 《専任より》

### インターネットの使い方

最近、子どもたちも自分のスマートフォンや携帯電話を持ち、メールや調べもの、ゲームなどを利用することも多くなりました。一方で、有害情報サイトなどにアクセスし、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースも絶えません。また、メールやインターネット掲示板、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）などのコミュニティサイトについても利用方法を誤ると、自分が気付かないうちに見知らぬ人に個人情報を知られてしまったり、相手を傷つけてしまったりするなど、様々なトラブルが生じる危険もあります。

こうしたトラブルに巻き込まれることなく、子どもたちが安全に、安心してスマートフォンや携帯電話を利用することができるよう、本校でも、子どもたちを対象にした「ケータイ・ネット教室」を実施しています。ご家庭でも、定期的に話し合ってみてください。

12月はお忙しい中、個人面談ありがとうございました。保護者の方々と顔を合わせてお話しする貴重な機会となりました。また、子どもたち一人ひとりと教育相談を実施しました。子どもたちの健やかな成長には、家庭と学校が同じ方向を向いて関わっていくことが必要不可欠です。引き続き、家庭と学校が連携して、健やかな成長を支えていきたいと思っております。不安や悩みがありましたら、担任・児童支援専任・養護教諭などに気軽に相談ください。

児童支援専任 赤津 淳子